2018 年 2 月 22 日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

熊本銀行と親和銀行に
銀行口座連動型スマホ決済サービス「銀行 Pay」をシステム提供
～横浜銀行、福岡銀行、熊本銀行、親和銀行で相互利用が可能に～

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証一部：証券コード　3769、代表取締役社長：相浦　一成　以下、GMO-PG）は、「銀行 Pay」（旧称：銀行口座と連動したスマホ決済サービス）の基盤システムを、株式会社熊本銀行（取締役頭取：竹下　英　以下、熊本銀行）及び株式会社親和銀行（取締役頭取：吉澤　俊介　以下、親和銀行）へ提供いたします。熊本銀行及び親和銀行は、「銀行 Pay」の基盤システムを活用した独自のスマホ決済サービスを、2018 年度上半期を目処に展開する予定です。

「銀行 Pay」は、導入している銀行に口座をお持ちの利用者が、加盟店 (※1) でのお買い物の際に、スマホアプリから即時に口座引き落とし等の支払いが可能となるサービスです。導入銀行間の相互連携（マルチバンク）にも対応しているので、これまでに導入が進んでいる横浜銀行・福岡銀行に加え、熊本銀行及び親和銀行のいずれの加盟店でも、銀行や地域を越えて「銀行 Pay」をご利用いただけるようになります。

(※1) 各銀行と「銀行 Pay」の利用契約を締結している加盟店



【背景と概要】

世界的にキャッシュレス化が進む昨今、日本におけるキャッシュレス決済比率は、2016 年時点で 20%(※2) と海外諸国に比較して低いことから、日本政府は 2027 年までに同比率を 4 割程度まで引き上げることを目指し、キャッシュレス化に向けた様々な取り組みを推進しています (※3)。このような中、銀行をはじめとする日本の金融機関においても、キャッシュレス化進展に向けた新しいビジネスの検討が進められています。

GMO-PG は、こうした金融機関のキャッシュレス化を支援するべく、銀行口座と連動してスマホアプリから即時に口座引き落とし等ができる「銀行 Pay」の基盤システムを提供しており、これまでに横浜銀行・福岡銀行でも導入が進められています。

そしてこのたび GMO-PG は、「銀行 Pay」の基盤システムを、熊本銀行及び親和銀行にも提供することといたしました。熊本銀行及び親和銀行は、2018 年度上半期を目処に「銀行 Pay」の基盤システムを活用した独自のスマホ決済サービスを展開する予定です。

（※2）2017 年 8 月発表 経済産業省「キャッシュレスの現状と推進」より
（※3）2017 年 6 月 9 日閣議決定「未来投資戦略 2017」より

【「銀行 Pay」について】（URL： https://www.gmo-pg.com/service/ginkopay/ ）

GMO-PG が基盤システムを提供する「銀行 Pay」は、2016 年に横浜銀行と共同で開発 (※4) した、スマホアプリから即時に銀行口座の引き落とし等による支払いができるサービスです。「銀行 Pay」を導入している銀行に口座を持つ利用者は、利用者向けスマホアプリをダウンロードし、自分の口座を事前に登録しておくことで、加盟店でのお買い物の際、加盟店のタブレット端末やスマホに表示された QR コードを読み取るか、支払い先へ“チェックイン”して暗証番号を入力するだけで、銀行口座から代金が引き落としされ、支払いが完了いたします。

金融機関は、「銀行 Pay」を銀行独自のスマホ決済サービスとして展開できるだけでなく、導入銀行間の相互連携（マルチバンク）により、銀行や地域を越えて利用できるサービスとして提供することが可能です。

なお、横浜銀行・福岡銀行・熊本銀行・親和銀行で導入が進められています。

(※4) 参考：2016 年 10 月 5 日発表「国内銀行初、横浜銀行の口座と連動したスマホ決済サービスを共同開発」
（URL： https://corp.gmo-pg.com/newsroom/press/gmo-paymentgateway/2016/1005.html ）

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

GMO-PG は、ネットショップなどのオンライン事業者、NHK や定期購入など月額料金課金型の事業者、国税庁や東京都等の公的機関など 8 万 6,136 店舗（GMO-PG グループ 2017 年 12 月末現在）の加盟店及び金融機関等に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供しています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、決済サービスを中心に、加盟店の売上向上に資する web 広告サービスや、加盟店の成長を資金面からサポートする融資等の付加価値サービスを提供し、年間決済処理金額は 2.5 兆円を超えています。また、金融機関向けのソリューション提供や、海外決済サービス提供・海外決済会社との資本業務提携等の海外事業など、事業領域を拡大しています。

今後も GMO-PG は、消費者と事業者にとって安全性が高く便利な決済を実現し、決済プロセスのインフラになることを目指しています。今後も新たなイノベーションを牽引し、EC 化率の向上・キャッシュレス化の推進に貢献してまいります。

【関連 URL】

・GMO-PG コーポレートサイト URL ： https://corp.gmo-pg.com/
・GMO-PG サービスサイト URL ： https://www.gmo-pg.com/

以上

【報道関係お問い合わせ先】
●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略 統括本部
TEL：03-3464-0182 FAX：03-3464-2387
E-mail：pr@gmo-pg.com

●GMO インターネット株式会社
グループ広報・IR 部 石井・島田
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】
●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
イノベーション・パートナーズ本部
戦略事業統括部 スマートペイ事業推進室
TEL：03-3464-2323 FAX：03-3464-2477
E-mail：info@gmo-pg.com

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】（URL： https://corp.gmo-pg.com/ ）

会　　社　　名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社　（東証第一部　証券コード：3769）
所　　在　　地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 14 番 6 号　ヒューマックス渋谷ビル
代　　表　　者	代表取締役社長　相浦　一成
事　業　内　容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資　　本　　金	47 億 1,200 万円

【GMO インターネット株式会社】（URL：https://www.gmo.jp/ ）

会　　社　　名	GMO インターネット株式会社　（東証第一部　証券コード：9449）
所　　在　　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　　表　　者	代表取締役会長兼社長・グループ代表　熊谷　正寿
事　業　内　容	■インターネットインフラ事業　■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業　■仮想通貨事業
資　　本　　金	50 億円

Copyright (C) 2018 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.